

Advanced Education Outreach lab

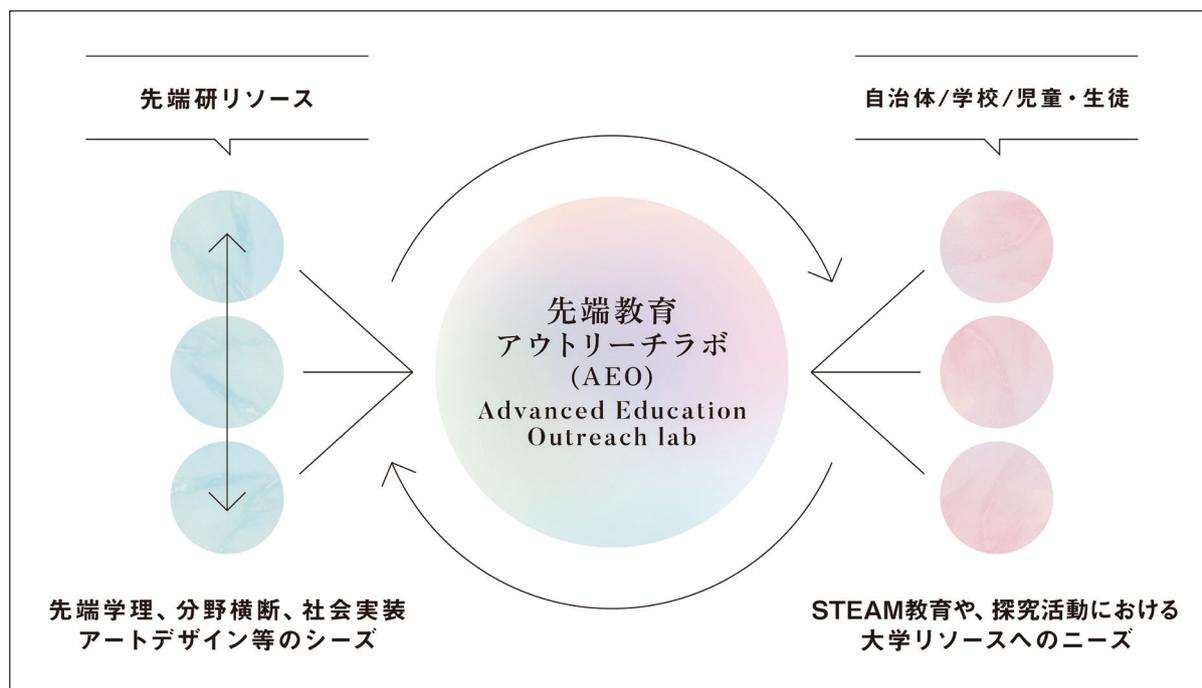
Annual Report 2023



先端教育アウトリーチラボ (AEO)

AEO とは

先端教育アウトリーチラボ (Advanced Education Outreach lab, AEO) は、東京大学先端科学技術研究センターにおいて、主に高校生までの次世代育成をサポートするためのワンストップ機能です。



主に探究活動や STEAM 教育等の観点から、大学のリソースと自治体や学校を結び付け、多様な研究分野の協力のもとに、先端研ならではの、文理融合・分野横断的な教育プログラムを、教育現場と共創しながら提供しています。そして、多様な実践を行いながら、関係者皆が互恵的で、持続可能かつ発展的な、探究・STEAM 教育モデルの開発をめざしています。

AEO の特徴

大学院生たちの能力開発と活躍の場

「学生アフィリエイト」自身が主役となり次世代育成に関わることで、学生自身が成長するモデル
⇒ 13 ~ 15 ページ

「共創」と「ゼロイチ」のコーディネーター

持続的かつ発展的な学校と大学との連携を実現する、専門人材の育成と仕組み作り
⇒ 16 ページ

「感性と理性とを育む「環境創造」から行う人材育成

アート、本物のインパクト。先端研マインドを子供たちと共有

The Advanced Education Outreach Lab (AEO) at the University of Tokyo's Research Center for Advanced Science and Technology is a one-stop function primarily supporting the next generation's development up to high school. Focusing on inquiry-based learning and STEAM education, it connects university resources with schools and local governments. Through collaboration across diverse academic disciplines, AEO offers unique, interdisciplinary education programs, co-created with educational institutions. As it engages in diverse practices, AEO strives to develop a reciprocal, sustainable, and evolving model of inquiry and STEAM education for all stakeholders involved.

自治体等との連携



先端研教員による
アートプログラム



学生アフィリエイトによる
探究支援

自治体等との連携による教育改革支援

⇒ 3、4 ページ

自主プログラムの開催



研究の個別サポート
「高校生研究員」



ウェビナー
「先端人シリーズ」

先端研主催による探究・STEAM 教育

「先端研ユースアカデミー」⇒ 5～8 ページ

国内外からの訪問受入



東北の中学校による
都外訪問



豪クイーンズランド州
からの訪問

学校や自治体からの希望に対応

「先端研リサーチツアー」⇒ 9、10 ページ

社会課題への対応



キャンパス公開時に開催している
特別イベント

理系の多様なロールモデルと女子中高生との

対話「放課後トーク」⇒ 11、12 ページ

— 2023 年度 Fact & Figure —

参加した生徒・教職員の数 約 1300 名※

※ 複数回参加した生徒も 1 名としてカウント

参加した生徒・教職員の学校・団体数 117 校・団体

AEO を通じたアウトリーチ活動に
参加協力した先端研教員数 35 名

活動した学生アフィリエイトの数 30 名※

※ 卒業生等も含む

受賞実績

公益財団法人日産財団

第 6 回リカジョ育成賞受賞

先端科学技術研究センター

第 1 回先端研所長表彰

教育業績部門受賞

2022 年度高校生研究員が

論文賞を受賞

Throughout the year, AEO implements various programs under four main categories: supporting educational reform in collaboration with municipalities, independently organizing inquiry-based and STEAM education programs, welcoming study tours to our laboratories from schools and municipalities both domestically and internationally, and initiatives for the societal challenge such as gender-gap in science and technology fields. In the fiscal year 2023, around 1,300 students and teachers from 83 schools and municipalities nationwide participated in these initiatives. The programs were implemented by the cooperation of 26 faculty members in RCAST and 30 university student members from our team.

東京都立立川高等学校創造理数科における教育実践システム構築への支援



先端研は、2019年度より東京都教育委員会と連携協定を結んでいます。2022年度に、都立立川高校に設置された都立校初の創造理数科に関して、文理融合等の観点から先駆的で高度な教育実践システムの構築に向け、2021年度の検討時から継続的に協力しています。2023年度は、航空宇宙モビリティ分野の都築怜理講師による流体力学にまつわるレクチャー及びワークショップ、先端アートデザイン分野（AAD）吉本英樹特任教授によるデザインのワークショップ、同分野の近藤薫特任教授（東京フィルハーモニー交響楽団コンサートマスター）による音楽の演奏を中心としたアート・プログラムを行ったほか、学生アフィリエイトが、個々の生徒に対し課題研究のサポートを継続的に行いました。また、継続的なサポートを通じて判明した当該校の高校生が共通して相談する事項やつまづいている部分に関して、学生アフィリエイトが中心となり教材を制作しました。



将来の目標を共にする複数校の高校生達が先端研に集う集中プログラム

山口県と先端研との連携協定をもとに、山口県教育委員会からの依頼を受け、医療に関心をもつ山口県立高校の高校生が先端研を訪問する2日間の集中プログラムを実施しました。最先端の研究に関する講義及び研究室見学のパートでは、構造生命科学分野の西増弘志教授、細胞関連医科学分野の星野歩子教授、ゲノムサイエンス&メディスン分野の永江玄太特任准教授、ニュートリオミクス・腫瘍学分野の田中十志也特任教授が対応しました。

2日目後半は、岡本尚也氏（一般社団法人Glocal Academy 理事長、先端研客員上級研究員）による探究に関する講義を行い、その後、生徒が少人数のグループごとに、学生アフィリエイトをメンターとして、自身の将来を探究的に考えるグループディスカッションを行いました。2日間を通して、特定の分野に関心をもつ生徒達が、第一線の研究者達による豊富で多彩なインプットにより、驚きやワクワク感と共に学びを深め、それらを「探究」のA

AEO collaborates with municipalities and schools on educational reform. Since 2019, AEO has partnered with the Tokyo Metropolitan Board of Education. Based on this relationship, we support educational practices at Tachikawa Metropolitan High School, including workshops on arts and design and mentoring for students' research project. In another case, in partnership with Yamaguchi Prefecture, AEO hosted a two-day intensive program for students interested in medicine, featuring lectures and group discussions. Through close communication and building trust, we will reform education to align with the realities of the field, evolving towards new educational approaches.

プローチから自分事として捉え直し、メンターのファシリテートのもとで、アウトプットし共有することで更に考えを深めていくという、一貫した流れのあるプログラムを実現できました。



参加者からのコメント

- ・自分はずっと臨床医の方を目指していたのですが、教授の方々の生き生きとした講演を拝聴できて研究もすごくいいのだなあと感じました。
- ・理学部や工学部からも医療研究に携われることや研究職というものを改めて知れた。
- ・東大生や教授の方々をはじめ、同じ目標を持つ人々と交流することができ、モチベーションを高めることができました。
- ・目標が同じでも根はまったく異なっているということを知ったので生活の中で考えが違う人も受け入れていきたいです。
- ・学校や学年の違う人と意見を言い合うことができ、将来への考え方が変わった。



県教委の方々と、事前に目的の共有や内容の議論等、綿密な調整と役割分担をしながらプロジェクトを実施することで、中身の濃い取組になりました。高校生の皆さんが、自分の中の"常識"や"限界"の枠を取り払うお手伝いになったのであれば幸いです。

山口県教育庁高校教育課 指導主事 武部 拓郎 様

今年度の「先端研究体験プログラム」は、「やまぐちの未来を創る！フロントランナー育成事業」の一環として実施しました。本事業は、医師を志す県内の高校生が、医療分野の先端研究を体感しながら、学校の枠を越えて学び合うことを期待して企画しています。

一流の研究者によるレクチャーとQ&A、研究室訪問、学生アフィリエイトを交えたディスカッション等を通じて、参加生徒は、医療分野の先端研究の重要性や魅力を体感するとともに、自身の今後のキャリアについて深く考えることができました。事後アンケートにも、プログラムを通じて医療に対する認識の変化を実感したという声や、学生アフィリエイトや他の参加者とのディスカッションにより今後の学習へのモチベーションが高まったという声が多く寄せられ、豊かな学びのある充実したプログラムとなりました。

In addition to participant comments like, "I really felt the appeal of research after attending the vibrant lectures by professors," feedback from the municipal officials who requested the program included: "Through first-rate researcher lectures and Q&As, lab visits, and discussions involving student affiliates, participants experienced the importance and allure of cutting-edge research in the medical field, prompting deep reflection on their future careers. Post-program surveys showed many felt a change in their perception of healthcare and increased motivation for future studies from discussions with student affiliates and other participants, making it a rich and fulfilling program."

先端研ユースアカデミー

「先端研ユースアカデミー」は、2022年度から開始した、先端研の自主企画プログラムです。多様な分野の研究者のレクチャーに、放課後の時間を使って、どこからでもオンラインで気軽に参加できる「先端人シリーズ」と、自身が追究したい研究テーマが既があり、発展的に取り組みたい生徒を個別サポートする「高校生研究員」という2つのコンテンツを提供しています。

『先端人シリーズ』

2023年度は、先端研で当年度から「先端研 Cross-disciplinary Data/AI」イニシアチブを立ち上げられた上田 宏生 特任講師にご協力いただき、データサイエンスを共通のテーマとして全4回を開催しました。

第1回「データサイエンスとは - 概要と歴史的背景 -」

2023年6月16日（金）

講師：先端データサイエンス分野 上田 宏生 特任講師

司会進行：学生アフィリエイト 中澤 紀香



データサイエンスは、膨大なデータから、計算科学や数学、機械学習などを用いて有益な情報を発見するための手法です。第1回は、上田先生から、歴史を遡り、コンピュータの歴史とデータサイエンスの成り立ちに関するお話頂きました。ウェビナー中は、参加者から沢山の質問が寄せられました。

第2回「プログラミングの勘所と Python の実行環境構築」

2023年7月18日（火）

講師：社会連携研究部門 次世代エネルギーシステムの開発 辻 真吾 特任准教授

司会進行：学生アフィリエイト 川口 万太郎



データサイエンスを実践するにはプログラミングが不可欠です。Pythonに関する沢山のご著書や勉強会でも知られる辻先生に、Pythonを中心にプログラミングのコツと躓きがちな環境構築についてお話頂きました。各自でパソコンを操作しながら聞いていただく場面も設けました。



告知用チラシ

The "Advanced Research Youth Academy," launched in 2022, is an independent program by Advanced Research featuring two key offerings: "Sen-tan-jin Series" is the webinar by RCAST researchers allowing easy online participation in lectures by diverse field researchers after school hours, and the "High School Researcher" initiative, which provides individual support to students with a specific research interest they wish to pursue further.

第3回「文系（社会学系）からみたデータサイエンス活用の可能性」

2023年9月12日（火）

講師：社会包摂システム分野 近藤 武夫 教授 & 先端データサイエンス分野 上田 宏生 特任講師

司会進行：学生アフィリエイト 田中 麻琴



テクノロジー活用により大学進学やキャリア移行の長期的支援を通じ障害のあるリーダーを育成する「DO-IT Japan」、アクセシブルなデジタル図書「AccessReading」、「超短時間雇用モデル」等々多様な観点から、障害のある人の学びや雇用に関するプロジェクトを、実践と研究の両面から牽引されてきた近藤武夫教授に、ご自身のお取組をご紹介頂くと共に、文系（社会学系）からみたデータサイエンス活用の可能性についてお話を伺いました。

第4回「拡張現実とデータサイエンスの可能性：第3・第4の腕からスポーツトレーニングの拡張まで」

2023年10月16日（月）

講師：身体情報学分野 稲見昌彦 教授 & 先端データサイエンス 分野 上田 宏生 特任講師

司会進行：学生アフィリエイト 小野 秀悟



先端人シリーズ2023の最終回となる第4回では、バーチャルリアリティ（VR）、エンタテインメントコンピューティング等の分野で、人間の身体機能を拡張していくことに着目した研究をされている稲見昌彦教授にご登壇頂きました。全4回のシリーズを統括して頂いた上田宏生 特任講師との対談を通じ、VR分野等の観点から、未来のデータサイエンスの可能性を考えました。

先端データサイエンス分野 上田 宏生 特任講師

データサイエンスをテーマに4回のレクチャーを担当させて頂きました。ご登壇頂いた先生方のお陰で、具体的で面白い内容になったと思います。いつの時代にも時代性というものがあり、現在は、これまで技能の習得を必要とした労働の多くがAIに置き換わろうとしているようです。このような時代にあっては、小手先の技術を学ぶのではなく、人類共有の知的な財産である文化や歴史、科学を幅広く学んで教養を身に付け、考える力を養うべく、教育も変化していく必要があるように思われます。探究やSTEAM教育を推進しているAEOの活動に参加して高校生と交流することで、いろいろなことを改めて考える機会にもなり、私自身大変勉強になりました。

先端人シリーズのアーカイブ動画はこちら ⇒



Following the launch of a Data Science initiative at RCAST in the 2023, the "Sen-tan-jin Series" held four lectures on Data Science as a common theme, featuring cross-talks by researchers across disciplines. From June to October, these sessions were held once a month on weekdays after school, with middle and high school students from across the nation participating. Student affiliates served as moderators, facilitating engagement between the student viewers and the researchers.

『高校生研究者』

高校生研究者は、高校生又は中学生で、自身が研究したいテーマがあり、もっと深く追究したい、という高校生等に対して、AEOの学生アフィリエイト達がメンターとなって個別サポートを行うプロジェクトです。2023年度は、11名の高校生、中学生の方にご参加頂きました。

2022年度を取組を踏まえ、2023年度は、コミュニケーションツールを活用することにより、メンターと高校生研究者とが個別かつ頻繁にやり取りできるようにしました。また、進捗報告や自由な質問、意見交換ができる「AEO オフィスアワー」も導入しました。

夏期・春期の集合型プログラム、「AEO オフィスアワー」成果発表会では、学校や校種を超えて高校生研究者同士が交流し、お互い刺激を受け合う仲間づくりができたようです。

【プログラム概要】

①から④をパッケージとして提供し、原則として全てにご参加いただきました。

① 夏期集合型プログラム

2023年8月8日（火）終日 @先端研 13号館講堂 & RCAST 学堂

オリエンテーション／アート・セッション（音楽演奏）／課題研究とは何か／文献調査の方法／研究倫理／各人の研究テーマや研究計画の発表／メンターとのチームアップ



② メンターやアドバイザーによる指導助言

AEOで、学生アフィリエイトとして次世代育成に携わっている大学院生や大学生が、参加者それぞれにメンターとして伴走しました。メンターを統括するシニア・メンターは、高校の教員免許を有する特任研究員が担当しました。課題研究を進めるうえで疑問点や困っていることを、メールやチャット、オンライン、対面で気軽に相談できるよ

The High School Researcher project pairs middle and high school students, who have a research theme they wish to explore more deeply, with student affiliates from AEO serving as mentors for individual support. In the 2023 academic year, 11 middle and high school students participated. Building on the initiatives from 2022, the program enhanced individual and frequent interactions between mentors and students through communication tools. It also introduced "AEO Office Hours" for progress reports, free questions, and exchanges of opinions. At the summer and spring collective programs and the "AEO Office Hours" presentation event, high school researchers from various schools and types engaged, fostering a community where they could inspire each other.

うにしました。研究内容に適合する先端研教員とのマッチングが成立した場合は、アドバイザーとしてメンターに加え、個別に指導助言を行いました。メンターやアドバイザーとのやり取りに加え、実験、研究室に同行して地方での実践への参加、学会への参加等、各人が多様な活動を繰り広げました。

③ AEO オフィスアワー

第1回：2024年10月29日（日）@ オンライン

第2回：2024年12月28日（木）@ 先端研 RCAST 学堂及び
オンライン

高校生研究員の進捗報告／質疑応答／ポスターの作り方ガイド
ンス／2022年度の高校生研究員による成果報告／意見交換会



④ 成果発表会

2024年3月28日（木）@ 先端研 ENEOS ホール&一部オンライン配信あり

開催報告／ショートプレゼンテーション／ポスター発表／審
査講評／表彰式／修了証授与／交流会

ポスター発表により研究成果を発表してもらい、先端研教員や博士課程学生が審査を行いました。成果物を持参する生徒も複数見られ、発表や質疑応答が活発に繰り広げられました。高校生研究員の保護者の方やご友人などにもご来場いただきました。以下は、最優秀賞、優秀賞、高校生研究員の投票によるピアレビュー賞に選ばれた研究です。



- | | | |
|------------|----------|-------------------------------------|
| 最 優 秀 賞 | 西田 優美奈 | 糸状藻類を用いたバイオマス燃料および土壌改良材の実用化に向けた基礎研究 |
| 優 秀 賞 | 中嶋 項栄 | 蟹の殻の再利用 |
| ピアレビュー賞 1位 | 沼田 まな | ぬいぐるみ型デバイスを用いた認知症患者への効果的な回想法の実施 |
| | 2位 岩崎 章太 | 毛髪と油によるマイクロプラスチックの回収方法の考案 |
| | 小暮 日菜子 | 「写角簡儀」の再現と実用化に向けて |

2022年度参加者より

東京都立三鷹中等教育学校 6年（参加当時5年） 古塩 朋己

私は、学校の先生からの勧めでこの企画を知った。学校の授業でも「探究活動」があり、そこで調べていた鉄道貨物輸送に関する研究を極めたいと思い応募した。この企画を通して、世界的に研究・提唱されている方策について学んだり、物流業界の方々に話を聞く機会を得たりすることができ、結果として、JR貨物の主催する貨物鉄道論文賞で入賞することができた。私一人では到底不可能なことであり、参加してよかったと強く思う。また、同期の仲間の研究発表などから、同じく自分一人では触れることのなかったであろう最新の話題などに接することができ、知見や興味を広げることができた。後代の方々がより素晴らしい実績を残されることを祈っている。

A comment from a high school researcher in 2022: "I learned about this program through my teacher's recommendation. Having engaged in 'inquiry activities' in school classes, I wanted to delve deeper into my research on railway freight transport and applied. The program allowed me to learn about strategies being researched and advocated globally and to hear from professionals in the logistics industry, leading to my winning an award in the JR Freight Rail Essay Contest. This achievement would have been impossible alone, and I'm very glad I participated. Furthermore, presentations from peers exposed me to cutting-edge topics I wouldn't have encountered on my own, broadening my knowledge and interests. I hope future participants achieve even greater things."

「先端研リサーチツアー」は、学校や自治体からの、先端研の研究室を訪問したいというご要望に応じ、主に以下の内容で、計2時間で実施しています。

- ・ キャンパスを回りながら先端研の概要紹介
- ・ 研究者のレクチャー及び質疑応答
- ・ 研究室訪問
- ・ 「学生アフィリエイト」との交流会
- ・ 振り返りアンケート記入

研究室で、実際の研究設備やデモンストレーションを通じて最先端の研究を体感してもらおうと共に、大学院生が学生生活等の一般的な内容の話題提供も行っています。また、高校生が話しやすい雰囲気を作り、質疑応答、意見交換会を設け、対話の機会を重視しています。今年度は12件をお受け入れし、首都圏だけでなく、宮城県、奈良県、宮崎県、熊本県など、全国各地からご訪問頂きました。

参加者アンケートによると、ツアーの満足度は高く、いずれの回にも共通して意見が多く寄せられる点として、最先端の研究者のレクチャーから学んだこと、研究室を実際に見学して感じた驚き、学生等、多くの人と話すことができたことへの満足が挙げられます。良かった点として、最も頻繁に寄せられる意見の一つは、質問しやすい雰囲気だった、ということです。

教科の枠組みを超えた研究現場のインパクトにより、生徒が感動や驚きをもって意識を高め、感じたことや疑問に思ったことを気軽に発言しやすい心理的安全性が確保された中で、生徒の興味関心を高め、自身の様々な可能性にも気づいてもらいたいと考えています。



The "Advanced Research Lab Tour" responds to requests from schools and municipalities for visits to our cutting-edge research labs. In a comprehensive two-hour session, we offer lectures, lab tours, and interaction with students. Participants experience the forefront of research firsthand through actual research facilities and demonstrations, while graduate students also share insights into university life. We create a friendly atmosphere for high school students to engage easily in Q&A and discussions, emphasizing dialogue opportunities. This year, we welcomed 13 groups from not only the metropolitan area but also from places across Japan, including Miyagi, Nara, Miyazaki, and Kumamoto Prefectures.

先端研リサーチツアーは、国内のみならず、海外からのご訪問も受け付けています。

先端研の多様な研究を海外の子供たちにも広く知ってもらい、各分野の魅力を伝えることに加え、将来的に研究のために日本を訪れる若者たちの育成につながるならば非常に有意義なことと考えています。

クイーンズランド州教育省との連携により 2024 年度に受け入れたツアーの例

- 14:00 ~ 14:15 キャンパス散策
- 14:15 ~ 14:45 インクルーシブデザインラボラトリー分野 並木重宏准教授によるレクチャー
- 14:45 ~ 15:00 質疑応答
- 15:00 ~ 15:20 研究室見学、デモ体験
- 15:20 ~ 15:50 学生アフィリエイトとのディスカッション
- 15:50 ~ 16:00 総括とアンケート記入



「先端研リサーチツアー」をご希望される場合は、AEO のウェブサイトに掲載しているフォーマットよりお申込みください。

研究室の見学は、原則 30 名までとさせて頂いております。なお、本ツアーは、学校や自治体からのお申込みに限定しております。

詳細、お申込みはこちら ⇒

<https://aeo.rcast.u-tokyo.ac.jp/researchtour/>



参加者の声

- ・テレビや本などでしか見たことのない珍しい本物を間近で見ることができた。とても迫力があった。
(小学 5 年生)
- ・自分はあまり理科が得意ではなかったけど、分かりやすく自分が今まで習ってきたことを深く知れる大学はおもしろそうだなと思いました。
(中学 2 年生)
- ・最先端の技術研究も基礎的な勉強や知識あつての話だとわかったので日頃の勉強を大切に頑張りたい。高齢者支援など研究の目的を知ったことで将来についての不安がすこし薄まった。
(高校 2 年生)

The Advanced Research Lab Tour welcomes visitors not only from within the country but also from abroad. Here are comments from participants: "Although I wasn't very good at science, the tour made me think that universities where I can deepen my understanding of what I've learned so far seem interesting," said a middle school student. A high school student added, "I realized that advanced technological research is built on basic studies and knowledge, so I want to value my daily studies more. Learning about research goals, like support for the elderly, has somewhat alleviated my concerns about the future."

放課後トーク～理系女子のリアルを覗こう～

理系分野に女性が少ないという社会的な課題に対応するため、AEOで2021年から開始した「放課後トーク」は、主に女子中高生と理系分野で活躍する多様なロールモデルとが会い、対話する場を提供しています。このイベントは、理系に関心があるものの不安がある女子生徒や、文系と理系の選択に悩んでいる中高生等を主なターゲットとし、理系への進路選択に関する不安を和らげ、モチベーションと更なる関心を高めることを目的としています。毎回、AEOの学生アフィリエイトが中心的な役割を担っています。



第3回となる2023年6月のイベントでは、準備段階の特徴として、過去にAEOの教育実践に参加した女子高校生に、フォーカス・グループ・インタビューを行い、意見を聞き、高校生のニーズや感性を直接把握しました。そして、1時間半のイベントでは前半の50分で、参加者が登壇者を身近に感じられるよう、具体的な経験談をいくつかの論点に基づいて発表し、後半はグループに分かれ、参加者と登壇者が直接対話する時間を設けました。

放課後トークに参加する学生・教職員一覧

中澤 紀香 NAKAZAWA Norika 院生組
 高校生の時は化学の実験が好きでした。大学ではサークル活動に熱中したり、画像処理に関する研究を行いました。現在は大学院で教育×情報分野の研究をしています。
 #課題研究 #サークル #教養学部 #理系女子 #大学院 #就職

院生組 **納富 祐典 NOTOMI Yusuke** 院生組
 高校から一貫して生物を専攻してきました。大学院では昆虫、主にアリの行動生態を研究しています。人生は一度きり！やっぱり好きなことを追求していきたいですね。
 #課題研究 #生物選択 #理工学部 #大学院 #博士課程 #研究職

福井 千海 FUKUI Chihiro 院生組
 高校は物化選択でしたが、学部では生物を専攻しました。4つの大学を渡り歩き、昆虫行動やそれを応用したロボットの研究をしています。色々なことに興味があって進路に迷っている方にアドバイスできたらと思います！
 #物理選択 #理工学部 #大学院 #博士課程 #研究職

海外経験組 **戴 知微 DAI Zhiwei** 海外経験組
 中国からイギリスへ留学して、今は東大で光学を研究している留学生です。様々な人と出会うこと、様々な知識を習うことが好きです！
 #海外経験 #留学 #サークル #理系女子 #大学院

海外経験組 **田中 真衣 TANAKA Mai** 海外経験組
 カナダの大学院で音声の研究をする中、生体信号に興味を持ち、現在は聞き取りや発話といった音に対する脳活動の研究をしています。何かを突めていくことの楽しさを、多くの人に知ってもらいたいです。
 #海外経験 #カナダ人留学生 #理系女子 #大学院 #博士課程

海外経験組 **孔 令荣 KONG Lingrong** 海外経験組
 中国から日本に留学して、現在は拡張現実によるドローン群とのインタラクションを研究しています。運動と猫が好きで、幅広い人と交流したいと思っています。
 #海外経験 #留学 #大学院 #博士課程 #理工系

学部生組 **榎原 茉央 EBARA Mahiro** 学部生組
 東京大学工学部システム創成学科に推薦入学後、環境エネレギーシステムコースに進学。大学では学生団体にて、アフリカと電力を中心にしらべている。興味分野は、原子力エネルギーや発展途上の地方電化。
 #サークル #起業 #アフリカ #理系女子 #推薦

学部生組 **森田 航輔 MORITA Kosuke** 学部生組
 東京大学薬学部推薦入学。高校生の頃は天然物の有機化学について研究していました。現在は化学と分子生物学の狭間で興味があります。
 #課題研究 #推薦 #生物選択 #薬学部

グループディスカッションに参加する学生・教職員一覧

学部生組 **星野 敬太 HOSHINO Keita** 学部生組
 東京大学農学部生物素材化学専修の学部3年生で、バイオマスや生物由来の素材という部分から環境問題に関わりたと思っています。合成生物学の世界大会IGEMに東大チームとして参加し、金賞を獲得しました。猫が大好きです。
 #サークル #課題研究 #推薦

社会人組 **石田 夏子 ISHIDA Natsuko** 社会人組
 東京大学先端科学技術研究センターにて理論物理の研究を行っています。中高時代はスウェーデン（IB出身）、博士課程ではアメリカ（スタンフォード大学）に行き来し、海外経験あり。二児の母です。
 #研究職 #子育て #物理学 #博士号 #理系女子

社会人組 **横田 莉子 YOKOTA Riko** 社会人組
 高校生のときは物理が好きでしたが、大学に入学してから工学に興味を持ちました。今は大学・大学院で専攻した電子工学の知識を活かして、エンジニアとして働いています。
 #エンジニア #電気電子工学 #半導体 #修士卒

社会人組 **榎木 悠亮 OHTEKI Yusuke** 社会人組
 東京大学先端科学技術研究センター 助教。太陽電池の開発や半導体結晶成長の研究のかたわら、大学院生のときからAEOの活動に参加。
 #電子工学 #研究職 #大学院 #博士課程

保護者・学校関係者の方の対応

森 晶子 MORI Akiko 保護者
 特任研究員。前職は自治体行政官。得意分野は政策立案、官民連携、教育行政（グローバル人材育成）。ジョージタウン大学公共政策大学院（修士）。一般社団法人MCC代表。一児の母。
 #教育 #教職



当日の配布資料

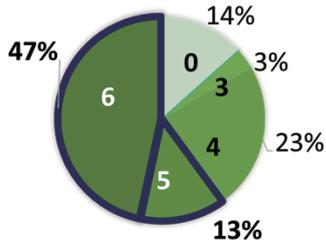
To address the social issue of the underrepresentation of women in STEM fields, AEO launched "After-School Talks" in 2021, creating a space where female middle and high school students can meet and converse with diverse role models active in STEM. Targeting female students interested in STEM but anxious, and those undecided between arts and sciences, the event aims to alleviate concerns about choosing a STEM path, boosting motivation and interest. At each session, student affiliates from AEO play a central role.

その結果、多くの参加者が理系への興味や理系でのキャリアに対するイメージを具体化し、モチベーションを高めることができました。このことは、事前事後に実施したアンケート結果からも裏付けられています。

アンケート結果（一部）

図 1. 事前アンケート

Q 理系に進むことに対してどの程度興味関心がありますか？
(6：非常に興味関心がある～
1：全く興味関心がない、0：分からない)



Q 将来のキャリアに対して、イメージを描けますか？
(6：明確にイメージを描ける～
1：全く描けない)

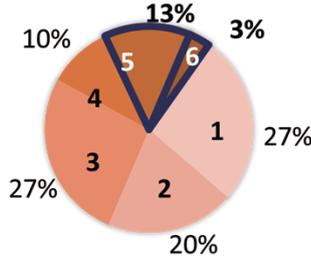
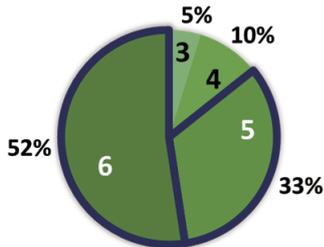
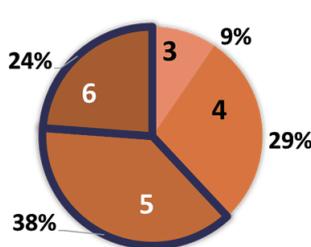


図 2. 事後アンケート

Q 本イベントに参加したことで、理系に対する興味・関心が高まったと感じますか？
(6：非常に感じる～1：全く感じない)



Q 本イベントに参加する前と比べ、将来のキャリアに対するイメージが明確になったと感じますか？
(6：非常に感じる～1：全く感じない)



森晶子, 樗木悠亮, 清水佑輔 (2023) 理系の多様なロールモデルと女子中高生との対話の実践－「放課後トーク」の効果に関する考察－. 日本教育工学会 2024 年秋季全国大会大会講演論文集, 609-610 より

放課後トークは、学生アフィリエイトの感性をふんだんに取り入れたイベントとして進化を続けています。今後は、イベント当日の内容を更に改善していくと共に、ロールモデルとの一時的な出会いだけでなく、継続的な関係を築くための工夫についても検討していきたいと考えています。

放課後トークのアーカイブ動画はこちら ⇒



「放課後トーク」は、2023 年度、公益財団法人日産財団による第 6 回リカジョ育成賞を受賞しました。

良かった点に関する自由記述

・皆さんとてもフレンドリーでとても親切に正直に説明していただけたと思います。もっと堅苦しい雰囲気かと思っていました。

(中学 1 年生)

・実際に海外留学や大学受験を行った方のお話を聞くことができ、将来のイメージが明確になりました。また、理系に進む意欲が高まりました。

(中学 3 年生)

・ただお話を聞くだけではなく、座談会という形式のもと、自分の聞きたいことを直接聞くことができる点 (が良かった)。

(高校 1 年生)

キャンパス公開特別イベント！

進学先ってどう選ぶ？

大学を卒業したらどうなるの？

人生って自由なんだ！

理系学生のリアルをのぞこう

放課後トーク

東京大学の在学生・卒業生と
"放課後のおしゃべり"をしているような雰囲気でお届け！

★講義パート (オンライン配信あり！)

- 大学の授業・課外活動って？
- 就活ってどんな感じ？
- 博士ってどうなるの？

★個別相談会&グループトーク (対面限定！)

- 学部生、修士学生、博士学生、社会人と、様々なバックグラウンドを持つ先輩方とお話できます！
- 他校の高校生ともおしゃべりできるかも？！

日時：6月10日 14:45-16:15
場所：東京大学駒場II 4号館2階講堂

参加登録はこちら↑

先進教育アウトリーチラボ
Advanced Education Outreach Lab

東大先端研
The Institute of Physical and Chemical Research

告知用チラシ

According to participant surveys, "After-School Talks" seem to reduce anxiety about pursuing STEM education and help concretize future career images. The program has received awards from other domestic organizations.



AEO では、教育実践の中心的な担い手として、多様な研究室の大学院生等を「学生アフィリエイト」としてチーム化し、マネジメントしています。研究者よりも高校生等に近い視座から、子供たちに分かりやすいアウトリーチ活動を実現するとともに、良質なサイエンス・コミュニケーターとしてのスキルを磨き、かつ、普段の研究では可視化されづらい、多様な非認知的能力を発揮し発展させる場にもなっています。

浦井 亮太郎 URAI Ryotaro 工学系研究科 先端学際工学専攻 博士後期課程



私はイベントの司会やファシリテーション、そして高校生向けのレクチャーを担当しました。司会やファシリテーションの仕事では、単にイベントをスムーズに進行させるだけでなく、参加する生徒たちが有意義な対話を交わせるよう促すことを重視しています。そのため、イベントの目標を事前に深く理解し、さらに予期せぬ状況にも柔軟に対応できるアドリブ力が求められました。各イベントを経験するごとに、これらの能力が徐々に向上していく実感がありました。

主な仕事：登壇、司会、ファシリテーション

佐藤 健斗 SATO Kento 工学系研究科 先端学際工学専攻 博士後期課程

授業や部活動の合間を縫って研究活動に勤しむ生徒たちと接することによって、助言を与える立場である我々も純粋な探究心の大切さを改めて実感されます。目に見える成果を短期間で出すことは難しい一方で、生徒の課題に対するアプローチなどに成長が見られていく様子にやりがいを感じています。生徒一人一人のモチベーションは様々である一方で、貴重な高校時代の時間を消費して取り組んでいる分、今後の糧になるような科学的な考え方やデータの整理・発表の仕方などを今後とも伝えていきたいと思っています。



主な仕事：学校での TA 活動リーダー

AEO organizes and manages graduate students from diverse labs as "Student Affiliates," central to its educational practice. From a perspective closer to high school students, they make outreach activities understandable for children, while honing skills as quality science communicators. This also serves as a platform for demonstrating and developing a wide range of non-cognitive abilities, which are often less visible in regular research activities.

高校生に直接の教育支援を行うという次世代育成の側面もさることながら、AEO では学生が主体的にイベントの企画や運営を行うため、我々自身の成長の場としても機能しています。特に私が担当する生配信の仕事は高度な専門性、事前の打ち合わせを含めた綿密な計画、仲間やゲストとのコミュニケーション、そして当日発生する様々なトラブルへの対応力が求められる難しい業務です。しかしそのような相互協力や試行錯誤の末に得られる達成感は何事にも代えがたいものがあります。また同様に、登壇する機会というのも非常に貴重な経験になると言えるでしょう。単独で講演を行うこともあれば、複数人でディスカッションをする場合もあります。「放課後トーク」に登壇した際は、その場でのアドリブ、対話に苦戦しつつも、本番という1度きりの挑戦を通して自らを鍛えることができました。



主な仕事：配信班リーダー、ウェブ運用、広告・雑誌デザイン、登壇

中澤 紀香 NAKAZAWA Norika

学際情報学府 学際情報学専攻 修士課程



イベントのファシリテーションや配信などを通して、AEO メンバーや先端研の教授の生の声を発信するお手伝い、探究学習のサポートなどをさせていただきました。参加した高校生の真剣な眼差しややる気に満ちた表情を見て、私自身が元気をもらうことも多かったように思います。高校生たちが将来のことを考えるとき、探究を進めていくときなどに、私たちの活動が少しでもお役に立てていれば幸いです。

主な仕事：登壇、配信、高校生研究員への指導

土田 遼哉 TSUCHIDA Ryoya

工学系研究科 電気系工学専攻 修士課程

主に高校生に大学の研究室を紹介する、リサーチツアーの運営を担当しました。普段の高校生活で大学の研究室のことを知る機会はほぼなく、リサーチツアーは高校生が将来のキャリアを考える上で非常に貴重な機会となっていると感じています。高校生との交流を通してこちらも常に新しい刺激を得ることができ、また高校生の反応を直接感じられることは大きなやりがいです。この活動を通して、一人でも多くの高校生が理系に興味を持ってきてくれたら嬉しいです。



主な仕事：リサーチツアーリーダー、撮影班リーダー

田中 麻琴 TANAKA Makoto

前期教養学部 理科一類2年



昨年の6月からAEOに参加し、先端人シリーズへの登壇やワークシートの作成などを行いました。学部生であるために授業の都合で活動への参加が難しいこともありましたが、短時間でもできる仕事を通じて、AEOの活動に少なからず貢献できたように思います。また、修士課程や博士課程の皆さんと活動することは、自分の進路についても考える良い機会となりました。来年度は、より直接的に高校生と関わりながら、高校生に近い視点から自由な進路選択を支援できるように努めます。

主な仕事：登壇、各種資料作成

Members

学生アフィリエイト一覧

博士課程 Doctoral student

※掲載は登録順

TANAKA Mai
田中真衣



工学系研究科
先端学際工学専攻
小谷研究室

HINO Mai
日野真生



工学系研究科
電気系工学専攻
杉山研究室

URAI Ryotaro
浦井亮太郎



工学系研究科
先端学際工学専攻
小泉研究室

SHIMIZU Yaho
清水佑輔



人文社会系研究科
社会文化研究専攻
唐沢研究室

SEKI Yoshitomo
関良朝



工学系研究科
電気系工学専攻
杉山研究室

FUKUI Chihiro
福井千海



千葉大学 融合理工学府
基幹工学専攻
AEO 交流研究生

SATO Kenji
佐藤健斗



工学系研究科
先端学際工学専攻
並木研究室

NOTOMI Yusuke
納富祐典



総合文化研究科
広域科学専攻
土畑研究室

DAI Zhwei
戴知微



工学系研究科
電気系工学専攻
岩本研究室

KONG Lingrong
孔令荣



工学系研究科
先端学際工学専攻
稲見・門内研究室

修士課程 Master's student

TSUCHIDA Ryoa
土田遼哉



工学系研究科
電気系工学専攻
杉山研究室

NAKAZAWA Norika
中澤紀香



学際情報学府
学際情報学専攻
川越研究室

SHIMASAKI Takashi
島崎嵩士



工学系研究科
電気系工学専攻
杉山研究室

IJIMA Koudai
飯嶋航大



工学系研究科
電気系工学専攻
岩本研究室

KAWAGUCHI Mantaro
川口万太郎



細胞連関医科学分野
星野研究室
交流研究生

KAWASAKI Seiya
川崎盛矢



工学系研究科
マテリアル工学専攻
町田研究室

WANG Hanlin
王菡琳



学際情報学府
学際情報学専攻
稲見・門内研究室

ONO Shugo
小野秀悟



学際情報学府
学際情報学専攻
川越研究室

TAKEUCHI Rie
竹内理絵



生物多様性・
生態系サービス 分野
森研究室 交流研究生

学部生 Undergraduate student

EBARA Mahiro
榎原茉央



工学部
システム創成学科
3年

NAKANO Kazuma
中野和真



農学部
応用生命科学課程
水圏生物科学専修 3年

MORITA Kosuke
森田航輔



薬学部 3年

HOSHINO Keita
星野敬太



農学部
応用生命科学課程
生物素材化学専修 3年

TANAKA Makoto
田中麻琴



前期教養学部
理科一類 2年

OHTA Masahiro
太田雅啓



前期教養学部
理科一類 1年

AEO では年間を通じて学生アフィリエイトを募集しています。
学生アフィリエイトに関する詳細はこちら →



学校と大学とを結び、教育共創を実現するキーパーソンを育てる

2021年度からのAEOの多様な実践を踏まえ、子どもたちに対する教育実践に加えて、2023年度から本格的に、大学と学校とをつなげ、探究やSTEAM教育等を推進するための人材、コーディネーターの育成に向けた研究や実践にも取り組み始めました。

これまでAEOと協働して下さった方や、AEOと類似する活動を展開されている方にインタビューを行い、内容を分析しました。その結果、大学の研究者が高校生までの子どもたちの教育に参画することについて、高校と大学双方に共通の目標は見出されるものの、高校と大学との連携の現場において、様々な課題が認められることが分かりました。

こうした両者のギャップを埋め、高校と大学がより広範かつ継続的に連携していくには、高度かつ広範囲な職能が求められます。コミュニケーション力といった、汎用的なスキルは勿論のこと、学校教育や大学の研究分野に関する知識や理解、それに基づく企画力、また、ある程度、自ら子供たちを指導助言できる力も必要となるでしょう。今後の大学においては、こうした職能を兼ね備えた専門人材、専門職としてのコーディネーター（マネジメント人材）及び組織的な機能としての確立が重要だと考えています。そして、当該コーディネーターが、博士号取得者等の高度人材にとって、選択したいと思える魅力的なキャリアパスになることも重要だと考えています。上記、調査し考察した内容については、以下の論文にまとめていますので是非ご高覧下さい。

Mori, A. (2024). Facilitating Collaboration Between Japanese High Schools and Universities: A Qualitative Exploration of the Role of Education Outreach Coordinators. <https://doi.org/10.3389/feduc.2024.1393183>

大学、或いはそれに準ずる機関において、コーディネーターが高度な専門職として確立しうるためには、海外における取組事例も参考になるのではないかと考えました。そのため2023年度は、オーストラリア及びニュージーランドの複数の大学や高校を回り、高校と大学との連携の実態や、そこで活動するコーディネーター人材の職について調査を行いました。2023年度の調査結果をもとに現在、コーディネーターに必要な知識技能を整理し、その職能を育成するための人材育成プログラムを開発中です。

AEOで活動した学生アフィリエイトの中から、卒業後も次世代育成に関与したいと考え、実行する人材が複数名出現しています。高度な研究力を有し、次世代育成に関心のある若者たちが、継続的かつ発展的に教育実践に関わることができる仕組みを作ることで、学校と大学とを有機的に結びつける、ゆたかな教育シーンが実現できるのではないかと考えています。

特定の研究分野におけるピラミッド構造を基本形とする研究室とは異なる、多様な人材が自由に集積する「所内横断プロジェクト」だからこそ生まれやすい、柔軟な発想をもとに、AEOはこれからも皆様と一緒に教育シーンを共創していきます。



先端アウトリーチラボ (AEO)
特任研究員 森 晶子
MORI Akiko



豪クイーンズランド州への訪問

Building on its diverse initiatives since 2021, AEO has not only engaged in educational practices for children but also in research and practical efforts aimed at developing personnel and coordinators to bridge universities and schools, promoting inquiry-based and STEAM education. In the 2023, I conducted domestic research and published its findings as articles like follows; DOI: 10.3389/feduc.2024.1393183. In addition, research was also conducted in Australia and New Zealand to refer their good practice in this field. Based on these studies, a training course for coordinators is currently being developed. (Project Researcher, Akiko Mori)

近藤 高志 KONDO Takashi

高機能材料分野 教授（副所長）

活動の進化に期待！

先端研ならではの教育アウトリーチの在り方を模索している先端教育アウトリーチラボ（AEO）は、2023年度も猛烈な勢いでその活動を拡大し続けてきました。異色のキャリアを持つ森晶子特任研究員という異端児のリーダーシップの下、樗木悠亮助教や学生アフィリエイトといった若いスタッフの皆さんが楽しそうに活動しているのは実に頼もしく、また、傍から見ていてスリリングでもあります。そのAEOとアフィリエイトが第1回先端科学技術研究センター所長表彰（教育業績部門）を受賞したのは真に喜ばしいことでした。このプロジェクトの重要な特徴の一つは、活動をメンバーの自発性に委ねているところにあると思います。森特任研究員や他のメンバーの成熟・成長に伴って、その活動内容は常に進化し続けていくはずで、2024年度もAEOの活動にエールを送り続けたいと思っています。



樗木 悠亮 OHTEKI Yusuke

新エネルギー分野 岡田研究室 助教

未来の科学者を育む：教育アウトリーチ活動を通じた次世代の育成

学生時代から太陽電池の研究に取り組み、2024年度に新エネルギー分野の助教として先端研に着任しました。私の研究は、高効率かつ持続可能な太陽電池技術の開発に焦点を当てています。この研究領域は、エネルギー問題に対する対策として非常に重要であり、技術進歩への貢献は社会的な意義を持つと考えています。また、博士課程の時に先端教育アウトリーチラボ（AEO）に参加しました。AEOへの参加理由



は、科学技術の重要性を広く伝え、将来の科学者やエンジニアを支援することにあります。博士課程修了後もAEOでの活動を継続しており、研究活動と平行して教育や社会貢献に取り組むことは時間的な制約を伴います。この両立を可能にするためには、効果的な時間管理と優先順位の明確化が必要であり、研究活動とAEOでの活動が互いに補完し合うよう調整しています。特に、AEOの活動を通じて得られる新しいアイデアや、さまざまな分野の人々との交流は貴重です。このような経験が、研究者としてだけでなく、教育者としても成長を実感させてくれます。今後もAEOの活動を通じて多くの人に理工学分野の重要性や魅力を伝え、さまざまな研究者がAEOのような活動に関心を持っていただけるように貢献していく所存です。

“AEO, in its quest for a unique approach to educational outreach, has continued to expand its activities at a remarkable pace in the 2023 fiscal year. (...) One of the key characteristics of this project is its reliance on the initiative and autonomy of its members.” (Dr. Takashi Kondo)

“Since my student days, I've been engaged in research on solar cells and, in the 2024 fiscal year, I began my role as an assistant professor in the new energy sector at an advanced research institution. Since my doctoral studies, I have been participating in the AEO. The new ideas gained through AEO's activities and the interactions with people from various fields are invaluable. Such experiences have allowed me to feel growth not only as a researcher but also as an educator.”

(Dr. Yusuke Oteki)

全国の高等学校教育の現状と地方都市における義務教育段階の階層化



新学習指導要領による新課程が始まり、「総合的探究の時間」はその中軸に据えられている。一方、委員を拝命している文部科学省中央教育審議会高等学校教育の在り方ワーキンググループ中間まとめにおいても、正しい理解や取り組みへの意欲の不足、学校側や他者から与えられたテーマに関する調べ学習に陥っていると指摘されている。全国の高等学校（本年はヒアリングも含めると100校程度）、教育委員会との協働から要因としては、教育行政機関、学校でのリーダーシップ不足からくるカリキュラムマネジ

メントの機能不全、教員の修士号取得率の低さ、教員養成課程・採用過程の改善の遅れ、効果的な外部連携の欠如が挙げられる。非常に多岐にわたる要因であるため、短期、中長期的な対応が必要であるが、今後、そのプロセスを例示して参りたい。

また、地方都市の義務教育段階における階層化が全国学力・学習状況調査の結果から見る事ができる。ある小学校では「自分には良いところがあると思いますか?」という問いに対する回答や、「自分と違う意見について考えるのは楽しいと思いますか?」「家では自分で計画を立てて勉強していますか?」では、当てはまると答えた生徒の割合が都道府県、全国平均の半分以上となっており、平日の勉強時間も0時間が都道府県、全国の3倍近い数字となっており、明確な階層化がそこにはある。今後、自治体と協力し、階層化の詳細な実態調査研究、政策立案につなげていきたい。

2023年度 AEO 運営体制

担当教員 教授 近藤 高志

担当 特任研究員 森 晶子

助教 樗木 悠亮

学生アフィリエイト

事務サポート 経営戦略企画室

AEO アドバイザー 岡本 尚也 一般社団法人 Glocal Academy 理事長

東京大学先端科学技術研究センター 客員上級研究員

中島 さち子 株式会社 steAm 代表取締役

宮本 久也 全国高等学校長協会 事務局長

協力メンバー 佐々木 智也 東京理科大学 先進工学部機能デザイン工学科 助教

石田 夏子 日本学術振興会特別研究員 RPD

Regarding AEO's operational structure: it is run by a single dedicated staff member, two faculty members from other research fields who also serve at AEO, and about 20 to 30 student members (student affiliates) who participate annually as part-time workers. Moreover, individuals who participated as AEO student members and became faculty members including at other universities after graduation continue to contribute as ongoing collaborative members. AEO also invites experts in school education as advisors, seeking their advice as needed.

杉山 正和 SUGIYAMA Masakazu
教授（所長）
エネルギーシステム 分野



近藤 高志 KONDO Takashi
教授（副所長）
高機能材料 分野



神崎 亮平 KANZAKI Ryohei
シニアリサーチフェロー
先端アートデザイン 分野



西増 弘志 NISHIMASU Hiroshi
教授
構造生命科学 分野



稲見 昌彦 INAMI Masahiko
教授
身体情報学 分野



星野 歩子 HOSHINO Ayuko
教授
細胞関連医科学 分野



岩本 敏 IWAMOTO Satoshi
教授
極小デバイス理工学 分野



森 章 MORI Akira
教授
生物多様性・生態系サービス 分野



岡田 至崇 OKADA Yoshitaka
教授
新エネルギー 分野



大澤 毅 OSAWA Tsuyoshi
准教授
ニュートリオミクス・腫瘍学 分野



小関 泰之 OZEKI Yasuyuki
教授
光量子イメージング 分野



熊谷 晋一郎 KUMAGAYA Shinichiro
准教授
当事者研究 分野



近藤 武夫 KONDO Takeo
教授
社会包摂システム 分野



並木 重宏 NAMIKI Shigehiro
准教授
インクルーシブデザインラボラトリー



角野 浩史 SUMINO Hirochika
教授
地球環境化学 分野



松久 直司 MATSUHISA Naoji
准教授
極小デバイス理工学 分野



嶺岸 耕 MINEGISHI Tsutomu
准教授
エネルギーシステム 分野



永江 玄太 NAGAE Genta
特任准教授
ゲノムサイエンス & メディシン 分野



都築 怜理 TSUZUKI Satori
講師
航空宇宙モビリティ 分野



光野 秀文 MITSUNO Hidefumi
特任准教授
生命知能システム 分野



浅見 明太 ASAMI Meita
助教
エネルギーシステム 分野



吉本 英樹 YOSHIMOTO Hideki
特任准教授
先端アートデザイン 分野



五月女 真人 SOTOME Masato
助教
高機能材料 分野



上田 宏生 UEDA Hiroki
特任講師
先端データサイエンス 分野



木村 正明 KIMURA Masaaki
特任教授
寄付研究部門 スポーツの価値
(明治安田生命)



喜多山 篤 KITAYAMA Atsushi
特任講師
URA



近藤 薫 KONDO Kaoru
特任教授
先端アートデザイン 分野



前川 和純 MAEKAWA Azumi
特任講師
身体情報学 分野



田中 十志也 TANAKA Toshiya
特任教授
ニュートリオミクス・腫瘍学 分野



安藝 翔 AKI Sho
特任助教
ニュートリオミクス・腫瘍学 分野



熊谷 啓 KUMAGAI Hiromu
特任准教授
社会連携研究部門
再生可能燃料のグローバルネットワーク



古賀 千絵 KOGA Chie
特任助教
減災まちづくり 分野



辻 真吾 TSUJI Shingo
特任准教授
社会連携研究部門
次世代エネルギーシステムの開発



宮崎 敦子 MIYAZAKI Atsuko
特任研究員
身体情報学 分野



次世代リーダーを皆で育てる AEO 教育共創基金 (AEO 基金)



採用 X Facebook YouTube Instagram English FAQ



寄付のしかた 遺贈 法人の方 プロジェクトを探す 寄付の特典 寄付者の声 活動成果

寄付する ログイン

HOME > プロジェクトを探す > 次世代リーダーを皆で育てるAEO教育共創基金

次世代リーダーを皆で育てるAEO教育共創基金



AEO では、活動資金の多くを、ご寄付を始めとする多様な外部資金で賄っております。2022 年度より、東京大学基金の中に、「次世代リーダーを皆で育てる AEO 教育共創基金」(通称「AEO 基金」)を設置し、AEO の活動に賛同いただける法人、個人からの寄付を募っています。特設ウェブサイト上で、簡単にご寄付いただくことが可能です。海外からのご寄付も歓迎します。

本寄付金は、寄付金控除の対象になります。また、「東京大学基金」の特典がご利用いただけるほか、AEO でも特典をご用意しております。みなさまの温かいご支援をお願い致します。

【ご寄付の使途】

- ・教育プログラム運営のための経費
- ・プログラムに参加する生徒の活動費等
- ・イベント開催のための設備・機材の購入費等

【実績】

2023 年度までに、38 件、3,904,000 円のご寄付を頂きました。

誠にありがとうございました。

詳細、ご寄付のお申込みはこちら ⇒



東大基金担当者からのコメント (特設ウェブサイトからの抜粋)

このプロジェクトは、自治体や教育現場との連携や大学院生を高度に活用すること等を通じて、持続可能な教育モデルの開発をめざしているのが大きな特徴です。

また、地方の生徒もプログラムに参加できるような様々な機会を提供しており、日本各地の子供たちに新たな視点と成長の機会を提供することで、未来を担う人材を育てるという大きな可能性を秘めたプロジェクトです！

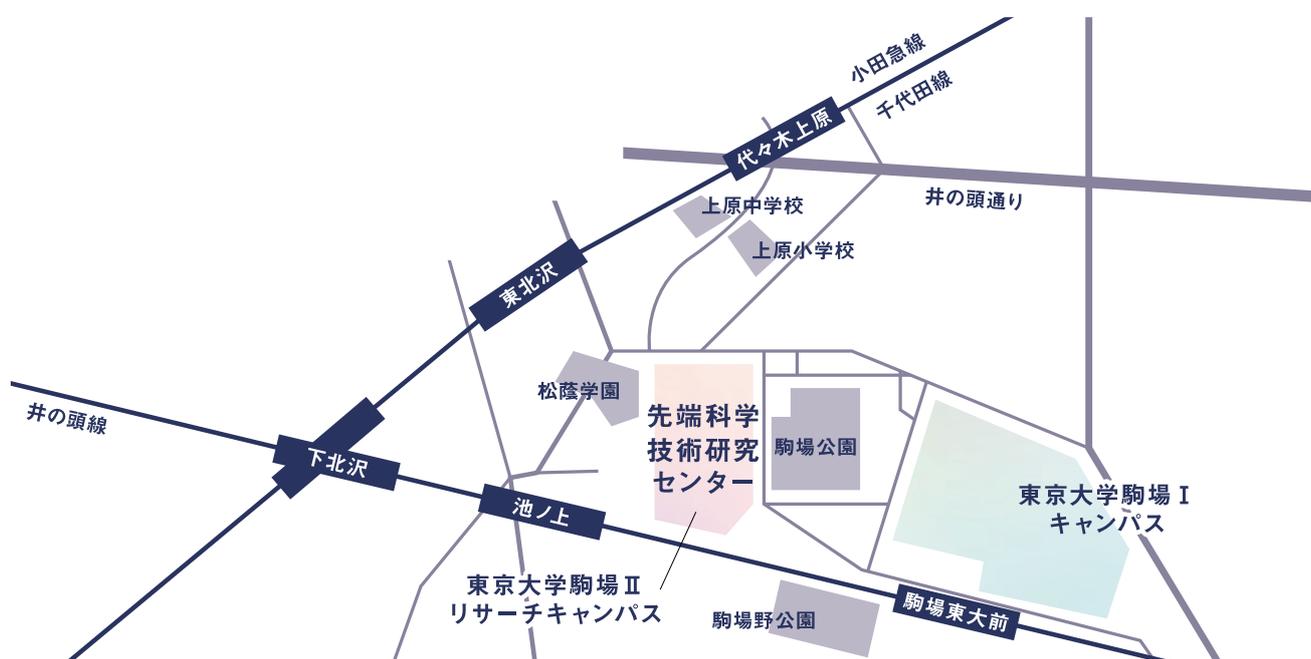
We Are Seeking Donations

AEO primarily funds its activities through a variety of external sources, including donations. Since 2022, the "AEO Fund" has been established within the University of Tokyo Fund, inviting donations from corporations and individuals who support AEO's mission. Donations can easily be made via a dedicated website, and contributions from overseas are also very welcome. These donations are eligible for tax deductions. Donors can enjoy benefits from the "University of Tokyo Fund" as well as special perks from AEO. We greatly appreciate your generous support.

【編集後記】

AEO は、2023 年度で発足 3 年目を迎えました。今年度は、チームとしての活動を本格化させることで、多様かつ充実した取組が実現し、かつ、更なる可能性の兆しも見えてきた年でした。複数年度の経験を有する学生アフィリエイトや、アフィリエイト経験を有する教員メンバーが、責任をもって主体的に業務を担ってくれることで、量的にも質的にもバージョンアップした取組が可能となりました。効果検証の手法も少しずつブラッシュアップしており、取組効果がどうだったのか、多方面からのアンケート結果等を分析しながら改善に努めています。AEO では引き続き、皆が主役になり、成長できる教育共創に取り組んで参ります。

(先端教育アウトリーチラボ 特任研究員 森 晶子)



東京大学 先端科学技術研究センター
先端教育アウトリーチラボ (AEO)
所在地 〒153-8904 東京大学目黒区駒場 4-6-1
E-mail office@aeo.rcast.u-tokyo.ac.jp

先端教育アウトリーチラボ 年次報告書 2023

発行日 2024 年 4 月 14 日

発行元 東京大学先端科学技術研究センター 先端教育アウトリーチラボ (AEO)

執筆・編集 森 晶子 (執筆者の名が付記されている部分を除く)

制作・デザイン 納富 祐典

本文中の所属・職名・学年等は、2024 年 3 月現在のものです。



東大先端研

Research Center for
Advanced Science and Technology
The University of Tokyo



先端教育アウトリーチラボ
Advanced Education Outreach lab

RCAST Website



AEO Website



AEO Youtube

